

# 保守モニタ付きシーケンスレコーダ

Sequence recorder with Maintenance Console

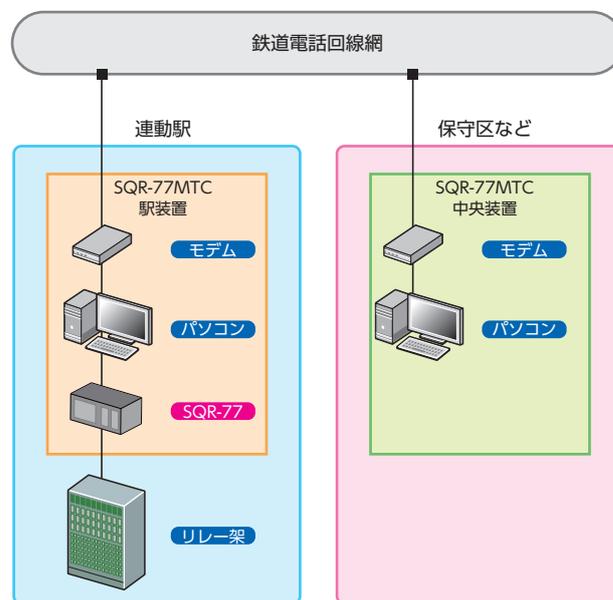
障害解析が容易となるシーケンスレコーダ

障害解析に使用する本装置(SQR-77MTC)は、従来のシーケンスレコーダ(SQR-77)に、電子連動装置で実績のある保守モニタ(MTC : Maintenance Console)の機能をあわせたものです。オンライン情報表示機能や確認画面表示形式の追加で、障害解析が容易になります。

## システム構成

リレー接点の変化情報をパソコンのハードディスクに蓄積し、指定した期間の動作状態や故障情報を様々な表示形式の画面で再生しながら確認できます。

また、鉄道電話回線を介して保守区などに設置した中央装置と接続し、遠隔地からでも駅装置と同様の蓄積情報を確認できます。



システム構成図

## 機能紹介

従来の蓄積情報の表示に加え、現在の連動装置の動作状態をリアルタイムに表示し、確認できるようになりました。以下の各画面表示によって、どのような事象が発生しているかを把握しやすくなり、障害解析時に大変有用です。

### 1. リリースtatus表示 (オンライン/蓄積)

継電連動装置から取り込んだ接点の動作状態をリレー名称毎に一覧表示します。

### 2. リレー変化状態 (蓄積)

継電連動装置から取り込んだ接点の変化状態を表示します。

### 3. タイミングチャート表示 (蓄積)

各リレーの動作状態をタイミングチャート形式で表示します。特定リレーの選択や保存・印刷などの機能もあります。障害解析の基本となる画面です。

### 4. 個別故障表示・メッセージ (オンライン/蓄積)

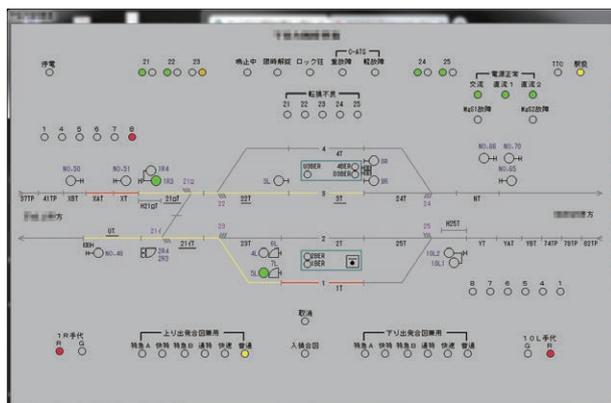
あらかじめ設定された故障検出論理による故障の発生/回復とエラーの履歴を表示します。

### 5. 線形表示 (オンライン/蓄積)

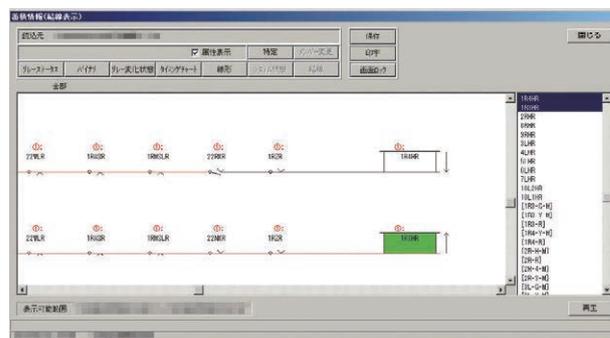
制御盤方式で動作状態を表示します。特定時刻における列車の在線状態や信号現示などが一目で分かります。

### 6. 結線表示 (オンライン/蓄積)

LDC (Logic Data Compiler) を用いた結線形式で動作状態を表示します。入力したリレー接点条件を、配線図に沿った結線図形式で表示するため、連動機能のほとんどの動作確認が容易になります。



線形表示画面



結線表示画面